

検討委員会の報告 将来に向けた基本的な考え方



考え方られる方法は2つ

新たに 処理施設を建設

留意点

- ・高効率でエネルギー回収が可能な施設
- ・より優位な交付金を受けるには広域連携が必要
- ・焼却施設、収集運搬等による温室効果ガスの検証
- ・新たな建設候補地の選定など

民間処理業者 に全面委託

留意点

- ・ごみの適正処理は行政の責務
- ・委託先の安定性や継続性

決定までは相当な年数を要する

△ ちょっと待って！ その間のごみ処理はどうするの？ △

もともと現焼却炉は
埼玉中部資源循環組合が
稼働するまでの延命措置

・更新には莫大な費用
・環境負荷
・住民サービスへの影響を考慮

区分	現施設の継続		民間委託A社		民間委託B社	
	内 容	評 価	内 容	評 価	内 容	評 価
環境負荷	・CO ₂ 発生 ・発電設備なし	△	・CO ₂ 低環境負荷型 ・発電設備あり	○	・CO ₂ 発生 ・発電設備なし	△
住民サービス（影響）	分別方法は 従来どおり	◎	分別方法変更の 可能性あり	○	分別方法は 従来どおり	◎
コスト	基準値	△	▲約11.7億円	○	▲約1.3億円	○
継続性（安定性）	コストをかければ 継続可能（10年間）	○	契約可能 (10年間)	○	単年度契約のみ	△

注) コストは現施設の継続を基準とした場合の10年間の比較

現状の
まとめ

将来の可燃ごみ処理は、新施設の建設か民間委託の両方の可能性を引き続き検討していくことになります。それまでのごみ処理は、民間へ委託する考えが濃厚です。

私たちに
できること



Gikai's
日々日

町民
ごみの減量化と
分別化の徹底

議会
行政←→町民
正しく伝えること



施設移転

風向きによっては臭いも…
それが、一時的に別の施設での焼却になる予定？とにかく
早急に施設移転をしてほしい。
鈴木秀尚さん（東小川6丁目）

日頃から

業務上でのデータ保存、文書の作成等は、できるだけペーパーレス
を心がけています。
関根康彦さん（幸町）

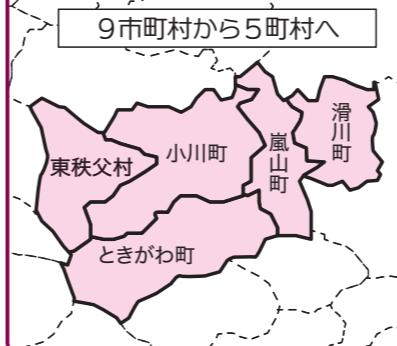


平成27年4月
埼玉中部資源循環組合
に参加

焼却炉の老朽化→設備更新には
莫大な費用→広域化により解消へ

令和2年3月
埼玉中部資源循環組合
解散

令和2年4月
元の枠組みで再スタート



令和2年8月12日
可燃ごみ処理あり方
検討委員会を設立

メンバーは自治体代表・住民代表・有識者による全5人（*参照）

知る・考える
巻頭特集

可燃ごみ
処理施設

新たな 検討 始まる！



「埼玉中部資源循環組合」の解散により、
「小川地区衛生組合」の枠組みで再スタート。
将来に向けた可燃ごみ処理のあり方、現在までの状況をまとめました。

始まったばかりの新たな議論、
一緒に考えていきましょう。